

競技規則についての補足説明

27日の講習会にはたくさんの参加、ありがとうございました。2点ご質問がありましたが、下記の通りとなっております。ご確認をお願いいたします。

「身につけるもの、身につけてはいけないもの」について

【新ルール】 JBA競技規則第4条を準用する。

プレーをするのにふさわしくないもの、ゲームに支障をもたらすものを身につけてはならない。

身につけるものは、「シャツと同じ主となる色」か「黒色」か「白色」のもので、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。

ルール上、上記のようになっております。出来る限り、ルールに則って大会に臨めるよう、ご理解、ご準備のほど、よろしく願いいたします。

「テクニカルファウル」について

「アシスタントコーチのテクニカルファウル」は、

「コーチのテクニカルファウル」となります。

したがって、アシスタントコーチのテクニカルファウルの場合、スコアシートにはコーチの欄に「B」を記入します。

その他にも新ルールがありますので、「2019年度 U12 カテゴリー新ルール変更点 20190401」を確認していただくと幸いです。

不明な点がありましたら、審判委員会 小笠原 まで連絡をお願いいたします。

〈参考〉 J B A 競技規則第 4 条より

4-3 ユニフォーム

4-3-1 全てのチームメンバーのユニフォームの規定は、次のとおりとする：

- ・シャツは、パンツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの
シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない。
全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れなければならない。
「オールインワン」は認められている。

【補足】 国内大会では、女子についてはシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。

- ・シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない
- ・パンツは、シャツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの
パンツの裾は膝より上まででなければならない。
- ・ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの
ソックスは見える状態でなければならない。

【補足】 国内大会においては大会主催者の考えにより変更することができる。

4-4 その他の身につけるもの

4-4-1 プレーヤーは、プレーをするのにふさわしくないもの、ゲームに支障をもたらすものを身につけてはならない。身長や腕の長さを補ったり、その他どのような方法であれ、不当な利益をもたらすような用具・器具を使用したり着用したりしてはならない。

4-4-2 プレーヤーは、他のプレーヤーに怪我をさせる可能性があるものを着用してはならない。

- ・次のものは身につけてはならない：
 - 柔らかいパッドで覆われていても、指、手、手首、肘や前腕の防具、ヘルメット、固定具や支持具で、皮革、プラスチック、合成樹脂、金属、その他硬い素材でつくられているもの
 - 他のプレーヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの（指の爪は短く切っておくこと）
 - ヘアアクセサリーや貴金属類
- ・次のものは身につけても差し支えない：
 - 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
 - 腕や脚のコンプレッションスリーブ
 - ヘッドギア。顔の一部（目、鼻、唇等）あるいは全部を覆うものではなく、着用するプレーヤーあるいはその他のプレーヤーに危険なものであってはならない。またヘッドギアは顔や首に開閉部分を持たず、表面に突起物があってはならない

- 膝の装具で、適切にカバーされているもの
- 負傷した鼻のプロテクター（硬い素材でつくられたものを含む）
- 無色透明なマウスガード
- 眼鏡で、他のプレーヤーに危険が及ばないもの
- リストバンドやヘッドバンドは、最大10cmの幅で、繊維素材のもの
- 腕や肩、脚等のテーピング
- 足首の装具

同じチームの全てのプレーヤーの、腕や脚のコンプレッションスリーブ、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンド、テーピングは全て同じ単色でなければならない。

4-4-3 ゲーム中にプレーヤーが着用するシューズは色の組み合わせは自由であるが、左右は必ず同じものでなければならない。点滅するライト、反射素材やその他の装飾物は認められない。

4-4-4 ゲーム中、プレーヤーはいかなる商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、ロゴやその他特定できるものを体、髪の毛、その他の場所に表示させてはならない。